

まごころ

第55号

発行日 平成25年3月1日
 発行 星が丘地区社会福祉協議会
 相模原市中央区星が丘3-1-38
 星が丘公民館内
 TEL 042-755-9955
 編集 広報紙編集委員会



星が丘公民館まつりで演奏する鼓笛隊



みんなで楽しめる
グラウンドゴルフ



鼓笛隊は、地域で支えていくことが望ましいと考え、地区社協として5

■星が丘鼓笛隊の隊服購入に助成

星が丘鼓笛隊は、いつも地域行事の先頭に立ち、行事の盛り上げ役としてがんばっていることは皆さんもご承知のことと思います。その鼓笛隊の隊服が10着程不足しており、隊服を着ていない隊員を見た地域の方から、「何とか揃えてあげられないのか」という声をいただきました。

地域での大切な役割を担っている鼓笛隊は、地域で支えていくことが望ましいと考え、地区社協として5

鼓笛隊は、地域で支えていくことが望ましいと考え、地区社協として5

同時に、地域の福祉活動団体（民生委員児童委員協議会・青少年健全育成協議会・老人クラブ連合会・子ども会育成連絡協議会・星が丘鼓笛隊）に対しても、毎年活動助成金として補助しています。

今年度、星が丘地区にグラウンドゴルフ普及委員会が発足しました。用具を購入し講習会や大会を開くと共に、地域へも貸し出しをしていきたいので、用具の購入費等として助成いただけないかとの要望がありました。

皆さんの募金が、地域の活性化にも役立っています

星が丘地区社協では、市社協からの交付金を始め、皆様にご協力いただいた募金の配分金、福祉バザーの売上金をもとに「みんなのつどい」や「福祉学習会」などの事業を実施しています。

万円の助成をいたしました。一着2万数千円する隊服です。一部の助成に過ぎませんが、これからも地域で大いに活躍して欲しいと思います。

第26回 福祉バザー開催!!

10月28日(日)

朝からどんよりとした空。「雨が降りませんように」と願いながらの会場準備でした。9時を過ぎた頃から雨が降りだし、お客様がたくさん来てくれるか心配しましたが、掘り出し物を手に入れようと開場前からお客様が並び始めました。開場後はいくつも購入する人、何度も買い物をする人もいて、バザー会場はにぎわっていました。

公民館入口付近では「ペットボトルキャップ・プルタブ回収」も行われ、星が丘キッズの子ども達17名がお手伝いしてくれました。違うキャップが混っていないかの確認は慣れたもので、「これは大丈夫！」と言いながら作業を進めていました。途中で雨が止んだこともあり、来場者数は昨年並み。バザー売上は昨年より増え20万3千円となりました。来場してくれた皆様、ありがとうございました。

☆映画会のお知らせ☆
 3月27日(水)
 星が丘公民館
 大会議室にて
 『雨に唄えば』(洋画)を上映します。
 ☆1回目 午前9時30分～
 ☆2回目 午後1時30分～

シリーズ福祉施設紹介

陽だまり作業所

陽だまり作業所は、精神障害者地域作業所として、平成8年4月星が丘4丁目に開所しました。障害を持った方が地域において自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう作業を通じて活動しています。企業からの下請け作業で機械を置いており、作業量も多くちょっとした町工場のような感じ学に来られた方は驚きます。現在22名のメンバーが在籍しています。時にはおしゃべりや笑い声がひびく和やかな雰囲気の中でそれぞれの目的に向かって自分のペースで仕事に取り組んでいます。

地域の活動として、福祉バザーにも参加させていただいております。活動を通じて交流を深めていけたらと思っています。障害者のより充実した地域生活を目指して、これからも地域の皆さまの支援をよろしくお願いいたします。

陽だまり

相模原市中央区
 星が丘4-10-6
 TEL042-776-9298

24年度募金報告
3,501,091円

皆様のご協力
 ありがとうございました。

日赤社員増強運動 **1,020,750円**

市社協賛助会員募集 **1,012,600円**

特別 386,000円
 一般 626,600円

共同募金(赤い羽根) **1,118,641円**

法人 298,500円
 戸別 789,900円
 街頭募金 11,649円
 星が丘小学校 16,378円
 その他募金 2,214円

年末助け合い **349,100円**

キャップ・プルタブ回収数

| | 24年10月 ～25年2月 | 19年～累計 |
|----------------|------------------|---------------------------|
| ペットボトル キャップ | 163.1kg | 1,745.3kg (ワクチン約791人分) |
| プルタブ | 7kg | 243.9kg (ドラム缶約2本分) |

・ペットボトルキャップは1kg(約400個)10円、20円でポリオワクチン一人分になり、NPOエコキャップ推進協会より発展途上国に送られます。
 ・プルタブはドラム缶約7本で車椅子一台と交換できます。

編集後記

過日、障害者雇用の研修で仙台市のしいたけ栽培の工場を見学する機会がありました。

しいたけといえば原木に菌を植え付けて収穫するイメージがありましたが、今は、チップに種菌を入れて専用のバックに仕込み、工場内で温度管理をし、数週間で収穫出来るようになります。「原発事故により福島県産の需要が減った分、宮城県での生産が増え成果を上げさせていたのだい、お返しをしなければいけない。」ということがとても印象深く、更に、障害者雇用にも積極的に頭を下がる思いでした。

M
A



昨年12月2日(日)にみんなのつどい・フェスティバルが開催され、前年に好評をいただきましたグラウンドゴルフやミニツリー作りのほか、新たにクリスマスカード作りや光る毛糸を用いた編み物等が行われ、約140名の方々に参加いただきました。グラウンドゴルフは、星が丘地区グラウンドゴルフ普及委員会との共催で行われ、好天にも恵まれて子どもさんや初めての方も参加して、ホールインワンが出るなど楽しい交流の場となりました。



また、映画会とコンサートの幕あいは、地域包括支援センター職員による音楽体操も好評でした。

また、映画会とコンサートの幕あいは、地域包括支援センター職員による音楽体操も好評でした。

綿菓子は丸い機械のまん中にザラメ砂糖を入れると、少しして周りにフワッと薄い綿のように広がってくります。慣れないと「きんとん雲」みたいになり横に広がったり割り箸から落ちそうになります。



みんなのつどい・フェスティバルを開催

昨年12月2日(日)にみんなのつどい・フェスティバルが開催され、前年に好評をいただきましたグラウンドゴルフやミニツリー作りのほか、新たにクリスマスカード作りや光る毛糸を用いた編み物等が行われ、約140名の方々に参加いただきました。グラウンドゴルフは、星が丘地区グラウンドゴルフ普及委員会との共催で行われ、好天にも恵まれて子どもさんや初めての方も参加して、ホールインワンが出るなど楽しい交流の場となりました。



楽しく編物



親子でミニツリー作りに熱中

クリスマスカード作りは、講師に中村千鶴先生(絵画教室主宰)をお迎えし、カードの用紙は更生施設「のびやか」の皆さんが牛乳パックを再利用して作った和紙を使用したしました。見本3種類の絵柄カードを参考にしてキットパス(ガラスやタイルなどに書いた後、布で拭いて消せる特殊なクレヨン)を用いて塗り重ねた後、一部を削り取ったり、いろいろなシールを貼ってデザインし、カードは最後にラッカーを噴霧して乾燥したら完成です。それぞれのカードには、子どもらしい豊かな個性が発揮され素晴らしい作品になっておりました。



完成したミニツリーとクリスマスカード

が、子どもが主役となって楽しく過ごしておりました。

また、これらの作品は自分の分とは別にプレゼント用として作っていただき、地域包括支援センターを通じて地域のご高齢の方へプレゼントしていただきました。センターに来られた方には職員がサンタクロースになってツリーとカードをプレゼントしたところ、大変喜ばれ玄関やテレビの前に飾りたいなどと大盛況だったそうです。なお、センターに来られない方には、センター職員が訪問した際にカードをプレゼントしていただきました。

「色カルタ」とは、パーソナルカラリストの三浦南海子さんが認知症になられた実母の介護をきっかけに考案されたものです。「今日の空の色は?」「初恋の色は?」などの読み札に対し、100枚以上の色カードから自分のイメージに合った色を見つけ、「なぜその色を選んだのか」を話してもらいます。

7月に開催した色カルタ体験講座では考案者の三浦さんをお招きしました。「色は個人的な記憶、感情と深く結びついているものです。色カルタを通じて自分の記憶を語り、それを聞いてもらうことが脳の活性化と心のケアになります。」とお話ごが印象的でした。

その後、全員で色カルタを体験しました。体験中は非常になごやかな雰囲気です。「初めて会った人ともすぐ話がかはさずびっくりした」「色について話すことも、人の話を聞くこともとても楽しかった」という感想が聞かれました。

地区社協では色カルタのセットを用意しています。貸し出しもできますのでご興味のある方はお問い合わせください。

第2回

星が丘地区敬老事業の実施

星が丘地区での敬老事業の実施は2回目となりました。当星が丘地区では、今年も地区社会福祉協議会が中心となって、敬老祝い品の配布、映画会・コンサートの開催と多彩な催しを行いました。



一 敬老祝い品の配布
地区内在住の77歳以上の方1,200人余りを対象に、民生委員より8月下旬から9月中旬にかけて、和菓子をお配りいたしました。

二 敬老映画会の開催

10月12日美空ひばり・中村錦之助共演の時代劇「千姫と秀頼」を午前・午後上映し、延べ62名の方が鑑賞されました。映画を観た方からは、美空ひばりの映画は懐かしくて良かったなど好評をいただきました。映画終了後、皆さんをお茶会にお誘いしたところ、多数の方が参加されました。

三 敬老コンサートの開催

10月30日津軽三味線の中川絃汰さんと箏デュオ織音の森さん、新井さんの生演奏を87名の参加者が聴きました。

中川さんには、早弾きの「津軽じよんがら節」やご当地の「相模原音頭」などを演奏していただき、参加者からは演奏中に拍手が起こったり、演奏に合わせて口ずさんでいる方もいました。

箏デュオ織音の2人は、古典からアニメ映画の挿入歌、シャンソンまで様々な曲を演奏され音色の美しさを堪能し、四季に合わせた童謡唱歌が演奏された時には、参加者の皆さんが楽しく歌っていました。

コンサート終了後、お茶会を開催し、津軽三味線の中川さん、箏デュオ織音のお二人も参加したことにより40名余りの参加者一同お茶会を十分楽しんでいただきました。

ふれあいフェスティバルで

綿菓子を担当して

11月11日、星が丘小学校校庭を会場に星が丘地区ふれあいフェスティバルが開催されました。

星が丘地区ふれあいフェスティバルとは、自治会連合会や地区社会福祉協議会、星が丘公民館を始め、地域で活動する団体が協力して開催するイベントで、今年で2回目になります。

住民が一堂に会するこのような場を設け、楽しみながら団体の活動を知ってもらい、参加した人が交流を深めることにより、地域を活性化し絆を深めることを目的としています。

このフェスティバルで地区社協は、綿菓子とポップコーンの販売と地区社協の活動紹介をしました。

ここでは忙しくも楽しかった綿菓子販売の様子を紹介します。

綿菓子を担当して

綿菓子は丸い機械のまん中にザラメ砂糖を入れると、少しして周りにフワッと薄い綿のように広がってきます。慣れないと「きんとん雲」みたいになり横に広がったり割り箸から落ちそうになります。

始まってしばらくしたら行列ができるほど混み合ってきました。右手でくるくる回しつつ、左手で次の割り箸を持ち、笑顔は絶やさない様心がけて、綿菓子作りに集中しました。

隣にいる相方は、お客さんに数を聞き、お金を受け取り、綿菓子を渡して、時折ザラメを入れて、流れもスムーズになりました。見てみると手先の軽い作業の様ですが、全身に心地よい疲れを感じました。

少し残ったザラメで小さな綿菓子を作ったら、「もう終わっちゃったんですか?」と、小さなお子さんが見えたので「これで良ければ」と、差し上げたら本当に嬉しそうでした。

みんなが大好きな綿菓子屋さん、とっても楽しかったです。

綿菓子は最終的には400個以上売れ、売上金の一部はふれあいフェスティバル実行委員会を通じて大船渡への義援金とさせていただきます。

